

(別紙4(2))  
目標達成計画

事業所名 グループホームゆりはま

作成日: 令和4年12月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	新型コロナウイルス感染防止のため、地域との交流が行なえていない。	感染状況を踏まえ、地域との交流機会を検討する	・警報レベルに合わせた事業所としての地域交流機会に関する指針の作成。 ・オンラインやたよりを活用するなど交流の在り方を考える。	6ヶ月
2	(3)	運営推進会議は計画的に実施されているが、利用者や利用者家族など、参加できていない方がいる。	運営推進会議のメンバーの全員参加	・オンラインなど感染防止に留意しながら取り組める方法を考える。	3ヶ月
3	(12)	重度化や終末期に向けた方針について職員が理解できていない状況がある。	重度化や終末期に向けた方針について理解する	・利用者一人ひとりの重度化や看取りに関する方針をまとめる。 ・重度化、終末期に関する指針を見直し、実態に即したものを職員に周知する	6ヶ月
4	(13)	避難訓練に消防署との連携が行なわれていない。	年1回消防署との連携により訓練をおこなう	・年1回消防署との連携により訓練をおこなう。	6ヶ月
5	(20)	居室の環境調整は、利用者の身体状態に合わせて家具等の配置を行っているが、利用者目線の心地よく過ごせる空間にはさらなる配慮が必要。	利用者を主体をとした環境づくりを行う	・セラピー職とも相談し、生活の質に留意しながら、環境調整を行う。	6ヶ月